

# 一年を振り返って

Jamboree委員長  
内藤 祐也



有澤会長を始め青年部会員の皆様本年度は大変お世話になりました。

青年部に入会し3年目、

ようやく慣れてきたこともあり委員長を引き受けさせていただきました。コロナウイルスの感染拡大が影響しJamboree委員会が実行できた事業は、12月の門松作成のみでした。とても寒い中でしたが、当日ご参加いただいた会員の皆様には大変感謝しております。完成した門松を見て感動しました。今年度青年部活動があまりできなかった分、来年度はより多くの事業が実行できることを祈っております。

Flexible委員長  
秋本 有貴



コロナ禍で様々な行動が制限され、不要不急の中で青年経済人、光商工会議所青年部の一員として「何ができるか?」ということを考えて1年でした。その中で、青年部メンバー

Expand委員長  
谷口 俊寛



今年度は、思う様に活動が出来ずに、計画していたイベントは殆ど実行できませんでした。しかし、このExpand委員会を立ち上げた最大の目的は、青年部会員の拡大(Expand)でした。

光まつりYEG実行委員長  
坂東 克己



昨年度10名の方の卒会により大幅に会員数が減った事に伴い、どうにかしたいという思いで活動してきましたが、目標14名(過去の最高記録13名)に対し20名もの拡大に成功しました。この成果が、今後青年部活動の力の源となることを期待しています。新入会員の皆さん、入会おめでとうございます。これから青年部として多くの活動をしていきたいでしょう! Expand委員会の皆様、年間お疲れ様でした。

ネットワーキング担当理事  
宇多 康徳



今年度はネットワーキング担当を務めました。対外事業の開催が難しい状況だったため、残念ながら出番がほぼありませんでした。ただ来期もネットワーキング担当の業務をそのまま引き継ぎ会員交流委員長として青年部活動で一番大切な会員同士の交流を手助けさせて頂きます。単会はもちろん他単会の会員とも交流を深めより多くの仲間を増やして頂けると嬉しいです。

会務担当理事  
中林 幸一



前年度に引き続き、会務担当理事の任を仰せつかりました中林です。今年度は今現在も世間を脅かしているコロナウイルスに対処して、日常生活もさることながら青年部活動に對しても大きな影響を与え、難しい舵取りが求められる1年だったと思います。

幸い、会務担当理事として担当事業である各例会、総会、クリーン計画等に関しては情勢を考慮した形を変えての事業運営という方向で一通りの事業を執行行うことができ、ご協力いただきました皆様には感謝しております。引き続き、過去に経験したことがない青年部活動が続くと思われれます。これからは、リモート等を使用した新しい形での委員会方法をはじめ、事業に対しても情勢に応じた改善を継続的に行なっていく必要があります。引き続き皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

引き続き、過去に経験したことがない青年部活動が続くと思われれます。これからは、リモート等を使用した新しい形での委員会方法をはじめ、事業に対しても情勢に応じた改善を継続的に行なっていく必要があります。引き続き皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

## 光商工会議所青年部会報

# 青年 Jump



光商工会議所青年部  
〒743-0063  
光市島田四丁目14番15号  
光商工会館内  
☎ 0833-71-0650  
✉ yeg@hikari-cci.jp  
発行責任者:有澤智貴  
編集:会務担当理事

**「越志活体」**  
～能動的な青年部活動を～  
令和3年度会長 **中林 幸一**



令和3年度会長 中林 幸一

この度、令和3年度会長を務めさせていただきます中林です。私も気づけば入会して13年目を迎え、青年部歴は長いのです。20代で入会し、入会当初は右も左もわからぬ関係の青年部活動、人間関係を築いて、苦勞したのを覚えています。名誉ある会長職を務めさせていただくにあたり、光商工会議所青年部の名を高めることができよう前向き且つ積極的な姿勢で取り組んでいく所存です。早速ですが、青年部活動とは何でしょうか? 答えは様々あると思います。私が一言で表すなら、青年部活動は人生において成長する為のハードルだと思えます。青年部は誰しもが入会できるものではないです。入りた

いけど入れないという方もいるかもしれません。あんなめんどくさい活動は冗談じゃないという方もいるかもしれません。感じ方は各人それぞれだと思えますが、私個人の意見をお話させていたたくと、皆さんは自分成長させることができる限定された特別な会に属しています。少しづつハードルを越えることで確かな成長を身につけることができます。人生の中の青年部活動を振り返った時に、自分が目指したハードルが越えることができれば、青年部で経験したことはお金で買えない一生の財産になるはずだ。私が会長として目指すものは、そのハードルを越える意欲の持てる青年

部体制づくりです。そこで、2つの目標を掲げさせていただきます。①委員会により一層の参加意識を持ち、青年部事業活動を通して各人が成長を感じる。②定例青年部事業活動に対するフォーカスを確立、各人が理解すること。各人と挙げさせていたいただきましたが、各人が重要なことです。各人一人一人の力が高まることで、各人の力はもろろんですが、青年部は活性化され

化、各人の成長がある。自ずと青年部が活性化されることで地域社会との絆も深まっていくはず。地域社会においてもなくてはならない、より強い関係を築き上げていくと共に、受動的ではなく、能動的な青年部活動を共に歩みましよう。



### 任期を終えて

第24代会長 有澤 智貴



満を持してスタートした新体制でしたが、未曾有の大災害とも言える『新型コロナウイルス』により阻まれ、波乱の幕開けとなりました。4月に計画していた通常総会をはじめ、5月の光市4団体合同ゴルフコンペ、10月の光まつり、11月の光焼きそば出店など大半の

事業が中止を余儀なくされました。事業が何もできないのはとても歯がゆく悔しい思いでしたが『会員の安全が第一! 会員から一人の感染者も出してはならない!』その一心でした。ですが、何も出来ないから何もなかった訳ではありません! コロナ禍においても皆で出来ることを考え実行してきました。

5月には光市長を表彰訪問し、5,000枚のマスクを寄贈しました。当時、入手困難だったマス

クを会員の寄付と事業費の一部を用いて購入し、光市を通じて困っている市民の皆さんへ届けて頂きました。市長からは感謝の言葉も頂戴し、良き地域貢献に繋がったと感じております。あと、通年で力を入れてきたのが、会員拡大事業です。特別委員会も立ち上げSNSや、パンフレットの刷新による会の紹介、会員全員による率先した勧誘活動。その結果なんと、20名もの多くの新会員に入会を頂きました。

これは会の発展の為の大きな一歩であり、素晴らしい成功事業であったと思います。次年度は直前会長の立場として、新会長を支え、新たに加わった多くの仲間と共に大好きな光YEGをより一層盛り上げて行く所存です。コロナの試練は光YEGの絆をより強固なものに変えた! と前向きに考えることにします。貴重な時期に会長経験をさせて頂き感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。